

2019年 12月 13日



---

[トレーラの駐車ブレーキ未解除による車両火災防止]  
弊社製トレーラの駐車ブレーキ（スプリング式駐車ブレーキ）に関する  
自動作動と解除について  
ご理解のお願い

---

平素より弊社製品をご愛用頂き、誠にありがとうございます。

さて、近年発生しております「トレーラの火災」における推定要因のひとつとして「トレーラ  
駐車ブレーキの未解除状態での走行」が挙げられます。

これに関連して、あらためて弊社製トレーラにおける駐車ブレーキの操作方法や操作バルブの  
機能につきまして下記にご説明いたしますので、ご理解を深めていただき、トレーラの安全運行  
へお役立てくださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

表 駐車ブレーキバルブ [スプリング式駐車ブレーキの場合] の比較

タイプ名	Aタイプ	Bタイプ
実物例 (写真)		
ノブの色	黒	赤
操作	<p><b>押す</b>： ブレーキが<b>掛かる</b></p> <p>引く： ブレーキが緩む</p>	<p><b>引く</b>：ブレーキが<b>掛かる</b></p> <p>押す： ブレーキが緩む</p>
機能	<p>(駐車ブレーキ解除状態において) エアタンクのエア圧力が265kPa (2.7kgf/cm<sup>2</sup>) 以下でノブが押された状態になり、<b>駐車ブレーキが自動的に掛かる。</b></p> <p>その後、エア圧力が490 kPa (5.0 kgf/cm<sup>2</sup>) 以上に復帰した場合でも<b>駐車ブレーキは掛かり続け、ノブも押された状態を維持する。駐車ブレーキを解除するには、ノブを引く必要がある。</b></p>	<p>(駐車ブレーキ解除状態において) エアタンクのエア圧力の低下に伴い<b>駐車ブレーキが自動的に徐々に掛かる。</b></p> <p>その後、エア圧力が490 kPa (5.0 kgf/cm<sup>2</sup>) 以上に復帰した場合<b>駐車ブレーキは自動的に解除される。自動的に駐車ブレーキが掛かっている状態を含めノブの位置は変化しない。</b></p>

[お客様へお願い]

- トレーラの駐車ブレーキ解除を忘れて走行した場合、ブレーキの**引きずりにより過熱し、最悪の場合車両火災等の重大な事故に至るおそれがあります**ので、**走行前に必ずトレーラの駐車ブレーキの解除確認をお願いいたします。**
- **日常点検及び定期点検を確実に実施 (下記リンクご参照)**  
特に駐車ブレーキバルブからの排気音の異常 (いつもと違う) やエア圧力の低下が認められた場合は、トレーラの駐車ブレーキが自動的に掛かっている可能性がより高く考えられますので、解除確認の確実な実施のほか、**エア漏れやバルブの点検整備を早い機会に実施**頂きますよう、お願いいたします。

一般社団法人 日本自動車車体工業会ホームページ

トレーラ定期点検整備の手引き (2018年度版) ご参照…冊子の5～19ページ、他

<https://jabia.or.jp/use/index.php>

<http://jabia.or.jp/userfiles/20181030.pdf>

(PDFファイルが開きます。)

● **定期交換部品の交換（下記リンクご参照）**

定期交換部品とは弊社がトレーラの安全を確保する上から、走行や時間の経過に伴った摩耗・劣化する部品の内、通常の点検ではその摩耗・劣化度合いが判定困難なものや、その後の保安を確保し得る期間が予測しにくいものを対象としたものです。車両の機能・性能を確保し、安全にご使用いただくためにも定期交換部品の定期交換をお願いいたします。

一般社団法人 日本自動車車体工業会ホームページ

トレーラ定期点検整備の手引き（2018年度版）ご参照…冊子の15, 16ページ、他

<https://jabia.or.jp/use/index.php>

<http://jabia.or.jp/userfiles/20181030.pdf>

(PDFファイルが開きます。)

[その他関連情報（ご参照）]

一般社団法人 日本自動車車体工業会ホームページ

トレーラサービスニュース

<https://jabia.or.jp/use/trailer/index.php>

以上